

# 令和3年度の 教育活動等に対する 学校評価書

令和4年3月17日

学校法人江尻幼稚園  
学校関係者評価委員会

## 1、幼稚園の教育目標

健やかな体と豊かな心

- ・心身ともに健康で、いきいきと遊ぶ子
- ・思いやりの気持ちをもった、優しい子
- ・自分の思いを素直に表現できる子
- ・興味や関心を持ち、自分で考える子
- ・最後までやりぬく子

## 2、本年度の重点目標

チャレンジする心を育てよう

- ・色々なことを経験する場を作り、自ら考えチャレンジする気持ちが育つような保育を心掛けてきた

## 3、自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は A (十分達成されている) B (達成されている) C (取り組まれているが成果が十分でない) D (取り組みが不十分である) の四段階で表す。)

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・こども園移行に伴い、教育方針・教育課程の見直しを教育要領と照らし合わせながら行うことで、再認識・理解をすることが出来た。</li><li>・指導計画も全体で話し合い、どのように子どもを育てたいか、思いを確認し方向性を共有できた。</li><li>・互いの保育を見せ合う園内研修がなかなかできなかった。</li><li>・園全体の行事についての話し合いは、早めに行いたい。</li></ul>	B	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ対応では、人手が少ない中よくやってくれていると思う。</li><li>・できる状況の時に、新しいできることを探していけばよい。</li><li>・低学年には補助の人手がもう少しあっても良いのではないか。</li><li>・参観会がなく、園内の子どもたちの作品を見る機会</li></ul>

保育の在り方 幼児への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の頑張りや、良い姿等をクラス全体で認め合えるような環境作りを大切にしてきた。</li> <li>・子どもの気になる姿を園全体で話し合い共有する時間をもっと作っていききたい。広い視野で子どもの姿を捉え園全体で子どもを育てていけるようにしたい。</li> </ul>	A	<p>が無くて残念。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事（ひなまつり）の時に、きれいに装飾されている園内を見て、もっと保護者に知らせたいと感じた。もっと発信してよいと思う。</li> <li>・普段の様子をもっとツイッターにあげてみてはどうか。それには人手も必要となるが。</li> </ul>
教師としての資質 能力、良識、適性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事、自然等への知識がまだまだ足りないと感じることが多かった。</li> <li>・遊びの方法、ヒントの出し方、導入の仕方等、技術的な面で経験の少なさが顕著だったと思う。失敗を恐れずとにかくやってみるという意識を常に持っていたい。</li> <li>・より良い保育を行うためには、保育者自身の心のゆとりが大切だと実感した。そのためには事前準備や計画が重要である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外に出る機会は、もっと増やして行ってほしい。</li> <li>・地域の住民としても、コロナで交流がなくなり歯がゆい思いだ。人間的な学びが少なくなってしまうように思う。</li> <li>・地域ぐるみで父母にもう少し協力を求めてみてはどうか。手伝ってもらいたい事をリストアップして欲しい。</li> </ul>
保護者への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での対応として、ツイッターやユーチューブを利用し子どもたちの園での様子を伝えるよう努力してきた。</li> <li>・怪我や体調が悪い時等、気になったことは必ず保護者に伝えるようにし、丁寧な挨拶やこまめな声掛けを心がけた。</li> <li>・コロナウイルス感染対策では、連絡メールPROを休日夜間も確認するようにし、早期対応に心がけた。</li> </ul>	A	
地域の自然や社会 との関わり	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域の行事もなくなり関わりが減ってきてしまった。その中でも何ができるか考え努力する必要があった。</li> <li>・近隣の神社に散歩に出かけ、季節を感じられる経験が出来た。来年度は、もっと機会を増やしていきたい。</li> </ul>	B	

教職員の研修と研究	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修には、パート職員も参加しそれぞれの考え方や園で力を入れたいこと等、情報や考えを共有して保育に望めた。</li> <li>・コロナ禍で対面の研修だけでなくオンライン研修が増えた。今年度は zoom の研修にも積極的に参加し、学びたいことへの知識を深められた。</li> </ul>	B	
保護者アンケート	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の登園時、担任の先生に教室からできる限り迎えてほしい。保育者の手が足りないように感じる。</li> <li>・園でコロナ感染者が出た時の対応を教えてほしい。</li> <li>・感染力の強い病気に園児が複数かかった場合、個人を特定されない形で保護者に知らせて欲しい。</li> <li>・ホームページやツイッターを活用し、昨年以上に園生活が身近に感じられ嬉しかった。</li> <li>・こども園になった時の、園児の一日のスケジュールがどのようになるのか知りたい。</li> <li>・子どもの悩みにもすぐ対応してくれて、職員全体で見られている雰囲気が安心できる。</li> <li>・偏食に対する熱心な取り組みに感謝している。</li> <li>・コロナウイルスの影響で、ここ2年親子遠足に行けていない。現地集合でも感染対策をしながら行ってほしい。</li> <li>・夏祭りが出来て嬉しかった。できる限り行事はやってほしい。</li> <li>・園庭にタイヤを置いてくれたのが良かった。想像力を働かせて遊んでいる様子が感じられる。</li> <li>・制作等、毎日たくさんのアイデア、工夫が嬉しい。</li> </ul>	B	